

西小ものがたり

諫早市立西諫早小学校
学校だより
令和6年4月9日(火)
文責:原田 秀紀

令和6年度 笑顔の中で出発！



桜やたんぽぽ、シロツメクサの花が咲き、虫たちも活発に動き始め学校やそのまわりでも春真っ盛りです。

4月8日(月)あいにくの雨天の中での新学期の始まりとなりましたが、朝から子供たちの元気な声が学校中に響き渡り、西諫早小学校に新しい息吹を吹き込んでくれました。また、市内外からの転入生11名と転入職員11

名、合計22名との新たな出会いをして令和6年度の「西諫早小学校の物語」がスタートしました。始業式では、どの学年の子供たちも聞く姿勢がしっかりできていること、さわやかな挨拶を返してくれることがとても印象に残りました。西小の素晴らしさを肌で感じた瞬間でした。これらのよさを、これからさらに向上させていきたいと思えます。1年間よろしくお願ひします。



新しい友だち・先生との出会いの会



始業式のあと、子供たちは各教室に入り、新しい友だち・担任と自己紹介をし合ったり、新しい教科書やノートを配ったりして学級開きをしました。最初は少し恥ずかしい雰囲気の中でしたが、しだいに打ち解けて歓声が上がリ、笑顔いっぱいの和やかな雰囲気に教室中が包まれていました。今回のクラス替えで仲の良い友だちと同じクラスになった子供とそうでない子供がいたのではないかと思います。子供たちはいろんな

人と出会い、ふれあうことで集団生活の中でたくましく生きていくための力を付けていきます。その子供たちの貴重な学びを西小の職員、そして保護者の皆様、地域の方々と支えていきたいと思ひます。アフターコロナとなり子供たちの学校や家庭、地域での日常が以前のように戻ってきています。集団生活の中で、友だちとの行き違いや折り合いがつけられないこともあると思ひますが、成功につながるステップとして捉えて、指導・支援していきましょう。どうぞ力を貸してください。



昨日の始業式で、6年生を代表して山口遥香さんと船越梨冴さんが、最高学年としての決意表明をしてくれました。西小のリーダーとして全ての6年生が同じ気持ちであることを始業式のあとに確かめることができ大変うれしい気持ちになりました。明日の入学式で新入生のお世話が

ありますが、今日の準備から頼もしさに溢れていてみんなかっこよかったです。

それでは、代表して決意表明してくれた2人の意見文を紹介します。



「本当のリーダーになるために」

6年 山口遥香

桜も散り始め、新学期が始まり、いよいよ私たち6年生は「西小のリーダー」として、それぞれの心構えをもって過ごす必要があります。

私が「西小の本当のリーダーになるために」大切にしたい、と思っていることは、「助け合う」ということです。

最高学年として、下級生はもちろん、どの学年の人にも、私ができることを活かして助け合っていけば、たくさんの人を笑顔にしていけると思います。

そのために、学習面では、わかるところは進んで手を挙げて発表し、友達にも教えてあげようと思います。

生活面では、明るい笑顔と元気なあいさつを心掛け、学校を明るく元気にしていこうと思います。

また、委員会や当番の仕事にも積極的に参加し、西小のために頑張っていきたいと思います。

友達とお互いの良さを認め合い、西小を明るく元気な学校にするために、これらのことに進んで取り組んでいけば、「西小の本当のリーダー」になっていけると思います。

「6年生でがんばること」

6年 船越 梨冴

6年生になって特にがんばりたいことが3つあります。

1つ目は新1年生との関わりです。1年生は学校のことが分からないと思うので、パートナーになった子以外の子にもいろいろ教えたいと思います。そして、学校のことが大好きになってもらえるようにやさしく接したいと思います。

2つ目は、役割をもった仕事は責任をもって最後までやるということです。今年は、西小のリーダーになるので、委員会やクラブ活動、日頃の日常で、下級生のお手本になれるようにもがんばりたいと思います。

3つ目は学年でがんばることです。学年で特にがんばることは、「チョボラ」です。6年生みんなで朝そうじをし、学校をきれいにします。そして、気持ちよく学校生活が送れるように一生けん命そうじをしたいと思います。

西小のリーダーとして学校をもっとよりよくしていけるようにがんばります。